

フシエン便り

9月号

平成27年9月1日

ARCベトナム校発行

介護・看護専門講義特集

8月は介護・看護の専門講義を行いました。候補者は講義を通して多くのことを学び、日本で介護士、看護師として働く意識も高まりました。候補者の感想を紹介いたします。

介護専門講義

●今日の授業のおかげで、コミュニケーションの大切さがわかりました。それからリハビリの意味も教えてもらいました。かいこの仕事は人の世話だけではなくて、人と人の関係です。ですから働く時笑顔で、利用者さんと話すのは必要なことです。しよる来の仕事を少しずつ想ぞうできるようにになりました。明日の授業も楽しみにしています。(介護9組 チャン・ティ・スアン)

●今日の授業もいろいろなお話がわかるようになりました。例えば、かいごは独りでは成り立たないことやかいご現場で働いている者同士、情報を共有しなければ、よいかいごはできません。いりようとかいごの立場は少し



ちがいます。そして高齢者と家族の意向は必ずしもいっちなしません。そのことがわかれば利用者の希望がわかりやすいです。日本のけんこうほけんについてもわかるし、いろいろなビデオを見て、かんしゃしたい：本当に面白かったです。(介護2組 ファム・ティ・ベ)



●8月17日(月)から介護専門を勉強しながら演習します。EPAの候補者はみんなかんにごについて勉強しましたが、介護を勉強するとき、いろいろなことを新しいと感じています。授業の時、みんな集中して何回も練習して、できるだけ上手に介助できるようにしたいという気持ちを持っています。日本で仕事がかまくできるために、今はもっと勉強しなければならぬと思っています。(介護10組 グエン・ティ・トゥイー・アン)



看護専門講義

●今日の授業で先生にいろいろなことを教えてもらいました。口腔内の観察をすることとかうがいすることとかよくわかりました。同僚同業とか患者さんとコミュニケーションをとることもわかりました。車イスで患者さんに移乗することができました。上の人の許可を願うこともできました。とても面白かったです。(看護1組 グエン・ディン・キー)

●今朝いろいろな薬の名前を勉強しました。例えば、胃腸薬と鎮痛薬と頭痛薬を勉強しました。そして、患者さんの血圧と脈を量って主任にほうこくしました。とても楽しかったです。もう一度、ベッドメーキングを復習しました。ベッドメーキングするときポディメカニクスが一番大切です。(看護2組 ホアン・バン・トゥアン)

